

石油罐ヲ叩キテ街路ヲ練リ歩キ、檢束者實ニ八十名ニ達シタル由。

森外務政務次官ハ松岡勲吉ニ案内サレテ過日來野、爭議視察ヲナシタル由。

○十二月廿六日

大正十一年木村事件ノ加害者丸山秋治本日出獄

○十二月廿七日

爭議團ニテハシキリニ各種會議ヲ催シ對策ヲ擬議ス。

○十二月廿八日

ビケツテイング本日ヨリ俄然猛烈トナリ出動社員ヲ道ニ擁シテ暴言ヲ吐ク。

爭議團小學兒童約四百名ヲ本部ニ集メ、幹部ヨリ爭議ニ關スル談話ヲナシテヨリ打揃フテ愛宕神社ニ參拜セリ。

午後五時頃、石塚工場課作業主任嚴父愛孫ヲ伴フテ散步ノ途上爭議團員ノタメニ硫酸樽ノモノヲ振りカケラレ顔面ニ火傷ヲ負フ。團員四名加害ノ嫌疑ヲ以テ警察ニ於テ嚴重取調ベ中ノ由。コノ他、町内各所ニ於テ暴行頻々ナリ。

○昭和二年一月一日

越年ノ際何事カアルベシト感ニ流言蜚語傳ヘラレシガ幸ニ無事、多事騷擾ナリシ昭和二年ハ幾多ノ不安ヲ殘シテ陰險裡ニ暮レユク。爭議勃發以來今日ヲ以テ恰モ百〇七日、既コ本邦爭議史ノレコードヲ破ル。

殺伐ナル鬪爭氣分ノ裡ニ越年セルモ流石ニ新春ノ事トテ情勢至ツテ平穩、應援者ハ九十名ニ達セルモ別ニ喧擾等ノ事ナク、野田劇場ニテハ終日激勵演説ヲナセリ。

石塚氏加害者ハ野口三郎ト今朝判明、藥品ハ鹽酸ニシテ東京ニテ求メ試験管四本ニ入レテ所持シ居リ豫テヨリ機會ヲ觀ヒ居タル由。狂妄度シ難シ。總同盟關西同盟主事金政來來野、何事カ協議ス。

○一月二日

在野中ノ總同盟戸魁續々退野、情勢平穩ナリ。茂木佐博造部長、安樂同副部長、並木工場課長太田顯間ハ二組ニ分レテ各工場ヲ巡回、在場員ニ對シ新年ノ祝詞ヲ述べ「產業道」ヲ提唱ヲナス。

五四

夕方停電ニ際シ、共樂館通ノ松飾悉ク爭議團ノタメニ抜キ取ラル。

○十二月廿九日

爭議團シキリニ漫罵ヲ以テ惡宣傳ヲナス。

○十二月卅日

過般爭議調停實行委員長ニ推サレタル大川周明氏ハ何故カ手ヲ引キタル由。

ビケツテイング今夜ハ甚ダ猛烈。正月ノ林ミノタメ工員ノ歸宅スルモノト察シ妨害ヲ試ミルモノナシ。

金井警察部長來野狀況視察。

午前一時頃、第一工場復歸工員戸邊七五宅ノ物置及豚小屋ヨリ出火、放火ノ疑充分ナリ。コノ騒ギノ最中爭議團員町有志ニ對シテ暴行ヲ働ク。

○十二月卅一日

深夜十二時、爭議團員ハ香取神宮及愛宕神社ニ參集何事カ祈願セリ。約五十名ノ應援團モ今夜鐵路來野、松岡勲吉等モノノ中ニテリ、關東同盟ノ幹部ハ多ク野田ニ於テ越年シ爭議團ニ氣勢ヲ副フルコトトナレル由。

○一月二日

ビケツテイング甚ダ嚴重社員、工員ニシテ出動ノ途上暴行ヲ受クルモノ三名ニ及ブ。

高梨忠八郎氏、縣議戰ニ立候補確定ノ由。

○一月四日

各工場在場工員ハ引續キ清新ノ氣ヲ以テ作業ニ従事シツツアリ、能率大ニ上ル。

爭議團幹部ノ集合所ニ於ケル煽動演説最近漸ク深刻ヲ極メ、小規模ノ暴行隨所ニ行ハル。

○一月五日

早晚丸三倉庫ニ保管中ノ醬油樽ニ墨汁、赤インキ等ヲ振りカケ汚損ス。爭議團員ノ所爲ナルコト歴然。

○一月六日

縣會議員選舉立候補ニ關シ、社會民衆黨千葉縣第一支部ハ種々畫策ヲナシツツアリ。

ビケツテイング緩慢トナル。

○一月七日

小學生盟休問題ニ關シ、小倉縣視學來野シテ爭議團幹部ト會談

五五